

町田市

No,	質問事項	回答
1	キャラがかわいいですね。職員のデザインでしょうか？	ありがとうございます。職員がデザインしたアバターです。愛称の「カワセミール」は、市の鳥カワセミから名づけられています。
2	修学旅行の積立金とかも含めたのでしょうか？	修学旅行費は、保護者が旅行会社に直接支払うもので、学校が集金・管理するものではなかったため、今回の公会計化には含まれていません。
3	導入にあたり条例や会計規則などで壁となることはありましたか？また、あった場合どのように解決しましたか？	教材費の徴収を市が担うにあたり、規則を制定しましたが、すでに給食費を公会計化していたため、大きな支障はありませんでした。
4	公会計にするとなぜ、教育委員会から市の業務にできるのですか？	もともとは、学校ごとに教員が教材費を集金・管理する仕組みでした。その業務を市が担い、保護者からの集金を「市の収入」に、教材の購入費を「市の支出」としたことを、「公会計化」と表現しています。
5	HPや会議にて、AIやアバターを使った動画をたくさん活用されていますが、作成は職員の方が行っているのですか？	動画は、職員が自前で作成しています。
6	学校勤務経験者には私費の公会計化のすさまじさがよくわかりますね。	ありがとうございます。DXawardの評価基準に「主管部門の主体性」が含まれていましたが、学校教育部門が主体的に、学校現場や保護者の利便性を追求したことで生まれた成果です。
7	システム運用までにどのくらいの期間を要しましたか。	2022年4月に、教材費を管理するためのシステムの導入（厳密には、給食費を管理するシステムへの教材費管理機能の追加）に着手し、要件定義、設計、構築を経て、2023年4月から運用を開始しました。
8	今回の取組によって教材費の未収率は改善しましたか？	今回の取組では、収納率は改善していません。収納率の向上を図るために、現在、コンビニ納付やキャッシュレス決済の導入を検討しています。
9	公会計化したことで、未納、督促対応が市に集中して負担になるということはありませんでしたか？	未納、督促の対応については、市の業務負担増とはなりませんが、公会計化の主な目的は教員の働き方改革であり、これまで教員が抱えていた徴収に係る負担軽減に重点を置いています。これまで教員が対応していた業務を市に集約することで、社会全体での効率化につながっています。
10	一定数想定される、デジタル化への抵抗をもつ(内外の方)へのフォローはなにかされましたか？	デジタル化に限らずかもしれませんが、変化への抵抗感は、一定数の方が持つものと思います。DXを推進する担当課としては、利便性の向上や業務効率化などの目的や意義をはっきりさせて、関係者と共有することが大事かなと思います。
11	動画編集は皆様ノウハウがあるのでしょうか。それとも、動画編集に長けた職員がいて、属人的に引き受けていたりするのでしょうか。作業環境（利用アプリ等）も気になります。	動画作成は、編集に長けた職員がいて、その手法を他の職員にも継承することで、今では複数の職員が作成できるようになりました。 動画編集には、Recotte Studioを使用しました。
12	公会計化したことによって、納付書は電子化されたのでしょうか？	紙の納付書を送付していますが、保護者にはオンラインで口座振替登録を行っていただくことが可能です。この点も、納めやすさに関する手間削減です。
13	町田市においては、情報セキュリティを扱う「DXアドバイザー」といった職員は配置されているのでしょうか？	3名の外部有識者をデジタル化推進アドバイザー（専門委員）として委嘱し、町田市のデジタル化施策に関することや情報セキュリティについて、助言等をいただいています。
14	操作研修やフォローアップ等で苦労された点があれば、どのように改善したかも含めて教えてください	システム導入時に学校事務職員向けにシステム提供事業者による操作研修を実施したほか、導入後も市職員による研修を実施しています。
15	各課のDX支援を個別を行う一方、その取り組みは庁内で横展開も必要かと思いますが、それはどのような形で行なっていますか？	優良なDX事例の庁内横展開については、主に2つの手法をとっています。 ・副市長や部長級職員で構成するDX会議で、よい事例を共有し、異なる部への展開を図っています。 ・職員向けのDXポータルサイト（Share Pointで作成）で、庁内全体に向けた事例紹介を行っています。